

以下は 2000 年 6 月～2002 年 9 月の期間に美星スペースガードセンターの 25 cm 望遠鏡で取得した観測データについての説明である。

1. データのファイル名について

個々のデータには、通し番号ではなくデータを取得した年月日と座標の値を示すファイル名が以下のように付与されている。

ファイル名：1_2222222222_333333_4444.fits

- 「1」の部分は本来望遠鏡のトラッキング方法を示すもので、今回のデータでは「m」のみとなっている。
- 「2222222222」の部分は望遠鏡が指向している赤道座標の値を示す。HHMMSSnDDMM の形式となっており、HHMMSS は赤経の時分秒（S が一桁目のみの場合あり）、DDMM は赤緯の度・分を示す。間の「n」は北半球（赤緯が+）を示し、南半球（赤緯が-）の場合は「s」となる。
- 「333333」の部分はデータを取得した日(UTC)を表す。たとえば2002年1月5日なら「020105」となる。
- 「4444」は同じ座標領域を連続で観測した際の続き番号を示す。1枚目が「0000」、2枚目が「0001」…、とつづく。同じ領域のデータであっても、座標値（「2222222222」の部分）が少しでも変わった場合には0000番から番号が振り直されることになる。

(例) 2002 年 8 月 16 日に、赤経 21 時 09 分 20 秒、赤緯+1° 51′ の方向を観測したデータのファイル名は

m_21092n0151_020816_0001.fits

となり、連続で露出していれば同じディレクトリに「0001」の部分が連番となるデータが存在する。

2. データ格納ディレクトリについて

上記のようなルールによりファイル名が付与されるため、同じ日付けで同一名のファイルが生成される可能性がある。そのため、各データはグループ（通常は一連の連続した露出により取得したデータのグループ）に分けて格納している。ディレクトリ名は「mpNN」または「mpNN_{String}」のような名称である。「NN」の部分はその日の通し番号が付く。「mpNN」ディレクトリにおさめられているデータは、恒星時追尾による通常のサーベイ観測データである。{String}の部分は特定の天体名を示す。「mpNN_{String}」のパターンの観測は当該天体の動きに合わせて望遠鏡をトラッキングし

ながらの観測である。そのため、恒星像がトレイルした（延びた）画像となる。

3. データ諸元

- 観測サイト：美星スペースガードセンター小型観測棟（50cm 望遠鏡ドーム）
- CCD のピクセル数、ピクセルスケール
2048×2048 pix, 2.285"/pix（ビニングなし）
※ピクセルスケールは望遠鏡の向きや検出器上の位置によって変わる。